



高橋まさき ニュース

高橋まさき事務所
〒933-0912 高岡市丸の内1-40 高岡商工ビル7F
TEL 0766-26-6035 FAX 0766-26-6008

後援会newsメールアドレス
info@takahashi-masaki.com

ごあいさつ

高岡市長 高橋 正樹

皆様、こんにちは。



まず、去る7月21日未明の集中的な大雨により、被災された皆様に、心からお見舞い申し上げます。被災箇所の復旧、災害の再発防止対策に全力を尽くし、安心して暮らせる災害に強いまちづくりを強力に推進してまいります。

今年の夏は暑い日が続きましたが、暑い年は豊作なのだそうです。私がお借りしている市民農園でも、なすにトマトキュウリなどの夏野菜がたくさん採れました。蒔いた種が芽を出し、大きくなって、実をつけ、色づき出し、「いつ、収穫しようか」とワクワクしながら、待ち続け、穫れたてを頂く。みずみずしい、はち切れんばかりの生命力を口一杯に頬張る、嬉しい経験をさせて頂いています（地元の皆さん、有り難うございます）。

さて、早いもので、皆様のお力で市長に就任以来、4年任期の最終年に入りました。

就任最初の年、平成21年には、市民の皆様とともに、高岡開町400年を盛大にお祝いしました。高岡の歴史と伝統に思いをいたし、郷土の誇りを改めて再認識する1年となりました。

平成22年には、次の100年に向けて新しい「世紀」に入った高岡市の道しるべとして、総合計画第2次基本計画（5カ年計画）の策定を始めました。計画期間中の平成26年度には、長年の夢であった北陸新幹線が金沢まで開業します。開業に向けて順調な事業進展が見られる中、100年に一度の交通革命をもたらす新幹線効果を最大限にいかしてまいります。このため、富山県、岐阜県の県境にまたがる越中飛騨観光圏を設定し、広域観光の可能性を探りながら、県西部地域唯一、新幹線の止まる街としての拠点性を高める取り組みを進めています。

平成23年には、歴史的風致維持向上計画の認定、いわゆる「歴史都市」への仲間入りを果たしました。新幹線や伏木富山港の「日本海側総合的拠点港」などの交通インフラの整備、いわば「都市の強み」と相まって、歴史や文化の香り漂う「まちの魅力」に一層の磨きをかけ、交流・観光のまちとしての発信に努めています。また、高岡の文化的な基盤をいかしながら、文化の持つ創造性を地域の活性化にいかしたいと考え、「市民文化創造都市会議」を設置して、文化による地域の活力向上方策を研究しています。

平成24年は第2次基本計画がスタートする年です。これまでの成果の上に立って、高岡のまちを「磨き」、その魅力を「つなぎ」ながら、大きな未来を「創る」ことを目指して、新基本計画に掲げた「新世紀創造プロジェクト」の実現に向けて全力を挙げてまいります。新幹線新駅の駅舎建設、現高岡駅のステーションビル建設など、新幹線関連のまちづくりが、いよいよ「形」を見せてきました。まちなかの歴史文化観光の拠点となる「御車山会館」も建設計画に沿って事業に着手し、「歩いて楽しいまち」つくりのため、具体的なルート選定やオープンカフェ開催、歩行路整備などに取り組んでいます。市民の皆様を預かる新急患医療センターの整備にも着手しました。10月からは、お子さん達の医療費助成の対象年齢を引き上げ、格段に拡充することになっています。

平成26年度の新幹線開業まで、およそ900日。日めくりカウントダウンが進んでいます。行ってみたい、住んでよかった、「選ばれる都市（まち）」になるためには、いわば「まちの総合力」を高めることが大切です。市民の皆様とともに創るまち、「共創」のまちづくりを、力強く進めてまいりたいと存じます。今後ともご支援、ご協力をよろしくお願いいたします。

高橋まさき後援会総会

昨年12月4日（日）に高橋まさき後援会総会が盛大に開催されました。そのときの記念講演の講師として、元NHKワシントン支局長の手嶋龍一氏をお招きし、「新たな日本の針路を考える」と題してご講演いただきました。会場は手嶋氏の講演を聴きたいという後援会員のみなさんで超満員（700名を超える数）となりました。ここに講演の概要を掲載させていただきます。



1. TPP

日本政府はTPP（環太平洋パートナーシップ協定）交渉参加を表明しながら、姿勢が曖昧。これは外交に携わるリーダーとして最もやってはいけないこと。TPP参加の意味は日本の針路を問いかけるものである。

これに対し中国はASEAN+6（日、中、韓+インド、オーストラリア、ニュージーランド）を提唱。本来なら、日本は米中の駆け引きにおいてキャスティング・ボートを握るチャンスだ。

《戦略上の観点から見た日本にとってのTPP》

- ・東アジアという限られた枠組みで生きるのか。→元の経済圏に入る。中国の意向を聞かなければならなくなる。
- ・アジア・太平洋という広い枠組みで生きるのか→米国・オーストラリア経済圏との連携。

《TPPの背後に安全保障》

オバマ大統領は、アジア・太平洋重視の演説をオーストラリアで行った。アメリカは安全保障上の重点を日本からオーストラリアに分散しつつあると捉えるべきだ。

ヒラリー・クリントン国務長官も論文で「アメリカのリーダーシップを維持し、国益を守るためには、アフガン、イラクに注いだ過去十年の、次の十年はアジア太平洋地域に外交・経済・戦略上の重点を置く」と断言している。しかし、だからといって日本をこれまで以上に重視するとは限らない。

中国は、インド洋からアラビア海にかけてインド亜大陸を取り囲むように海軍の拠点を確保しつつあり、「真珠の首飾り」戦略と呼ばれている。アメリカが戦略の海とみなす海域で、中国が勢力の拡大を図っている。

アメリカは2012年半ばからオーストラリア北部のダーウィンに2500人規模の米海兵隊の本格的駐留を開始する予定。ダーウィンは中国のミサイルの射程圏3000kmの外に位置している。普天間基地問題を解決できない日本にアメリカは苛立ち、日米同盟は大きく揺らいでいる。

《21世紀のニッポンその針路》

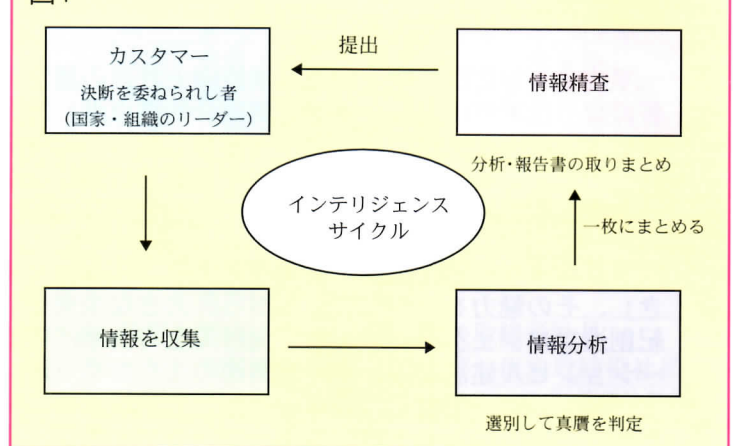
- ・世界は保護主義から自由貿易へ。
 - ・国際競争力に乏しい日本の農業分野は構造改革を迫られる。国益のために守るべきところは守り、改革すべきところは改革する。
- 政治指導部の国家デザインが問われている。
高岡も高岡がどうあるべきかデザインしなければならない。

《劣化する日本外交》

アメリカ沖縄基地→日米同盟に亀裂

中国→尖閣諸島、北朝鮮→ウラン濃縮、ロシア→北方領土（メドベージェフの国後島訪問）これらのできごととは決して個別に起きているわけではない。水面下で深く結びついている。国境は政治力により伸び縮みする。日本の国境は縮んでいる。

図1



2. インテリジェンス (図1 参照)

インテリジェンスとは決定的な決断のよりどころになる情報であり、膨大な一般情報（インフォメーション）の海から貴重な情報の原石を選び抜いてその真贋を確かめ、周到な分析を加え、情報が意味する全体像を描き出す。また組織の舵取りを委ねられたリーダーが決定的な決断に踏み切るに当たって役立つよう精選された情報をインテリジェンスという。

《オバマ大統領の決断》

・オバマの熟考（ビンラディン殺害でテロに区切り）

▷ 2011.3.14から「ネプチューンの槍作戦」検討会議

▷ 毎週日曜日ゴルフ

▷ 2011.4.29作戦実行を承認

▷ 2011.5.1「ネプチューンの槍作戦」決行（この瞬間は政府首脳がホワイト

ハウスに集結し、スクリーンで視聴）（オバマはゴルフウェアにジャンパーを羽織っただけ）これの意味するところは、作戦決行の直前までゴルフに興じるというところにあり「敵を欺くにはまず見方から」を地でいっている。

《3.11東日本大震災における日本の最上層部（政府首脳）のインテリジェンス・サイクルはどうだったか》

大きな災害はすべからず初動の24時間が勝負を決める。

大津波が福島第一原発を襲った直後すべて停電となり、すべてのバックアップ装置作動停止→炉心溶融→メルトダウン→メルトスルー→水素爆発

原子力の専門家がいたはず。簡潔な報告が総理に上がり、3.11当日に菅総理が決断を下すべきであった。

だが、総理の決断は全くなし。一部住民に避難指示は出したが、肝心の原子炉にどう立ち向かうのかについて、全く決断しなかった。翌日ヘリコプターで現地を視察する姿をカメラマンに撮らせるといふパフォーマンスを行い、東電を怒鳴りつけ、事故対処のための貴重な時間を費やししながら、何も決断はしなかった。そのことにより被害はさらに広まった。インテリジェンス・サイクルは全く機能していなかったと言わざるを得ない。国家の非常時にあっては、東電でもなく、原子力保安委でもなく、政治の最高指導者たる総理が決断の任に当たるべきだった。しかし、菅総理はその責務を果たさなかったのみならず、辞職後も「その時決断しなければならなかったのは自分だったのだ」という自覚すら持っていないと思われる。

「想定を超える災害」につき、官邸・保安院・東電すべてが、あたかも自分たちに責任がないかのような言動をとっている。しかし、かつて米ソ冷戦の時代に、一瞬の判断が人類を滅ぼすかもしれないという過酷な状況に自らを置いて、判断を担った人々がいた。「核時代の語り部」といわれるアルバート・ウォルステッター博士は「想像すらできない事態を想定し備えておけ」（少数の選ばれし者は自らをこれ以上ないという過酷な状況に置き、考えられないような事態を常に頭に描いて、自らを鍛え抜き、それらの事態に備えておけ）とアメリカ首脳に提言をしていた。

《政治指導部の危機的状態》

民主党政権のリーダーシップを厳しく言ったが、事態の危機は今の自民党に政権が移っても変わらないと思われるところにある。

なぜ日本の政界に人材がなくなったのか。そこには戦後の日米同盟のありようが影を落としている。戦後日本は、アメリカの核の傘のもと、安全保障は日米同盟に依存して、経済発展の道をひた走った。その結果、経済大国とはなったが、失ったものも多い。国家の存亡にかかわる重大事をアメリカに委ね続けてきたため、いつの間にか、非常事態に「決断するは我にあり」という政治家がいなくなってしまったのだ。優れたリーダーが現れることを望むが、出てこないときは外から招へいすることも考えねばならなくなるだろう。日本の政治指導者の劣化はまさに危機的な状況だ。



支部長さんこんにちは

昨年暮に各支部長さん宅へ
これまでの活動支援とこれからのご協力を
いただきますようお願いいたしました。
今後も更に頑張りますので
よろしくお願い申し上げます。
なお、当日ご都合が悪く
お伺いできなかった支部長さん宅も
ございます。



戸出支部



下関支部



東五位支部



石堤支部



万葉支部



能町支部



横田支部



川原支部

支部長さんインタビュー

高橋市長の温かな人柄と、派手さを
取る政治手腕は、絶賛に値する。

今や地方の政治経済は、都市間アイ
する一方で相互の連携協力を上手に誤
われる時代。

特に安全・安心な地域づくりが喫緊
今、高岡市のトップリーダー高橋正樹
を得た人物」と大きな期待を寄せてい



福田支部



立野支部



古府支部



小勢支部



西条支部



吉久支部



国吉支部

空え手堅く実を
デア競争が激化
整する手腕が問
の課題である昨
氏は、正に「時
る。



二塚支部
青木 誠支部長



中田支部



定塚支部



博労支部



伏木支部



木津支部

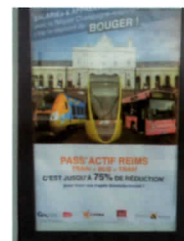
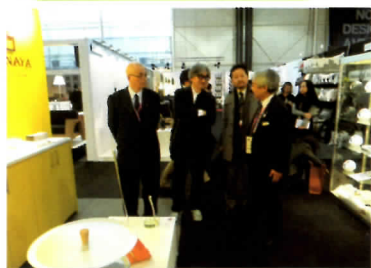


野村支部



活動報告

パリ紀行



自治体国際化協会パリ事務所のホームページに、メゾン・エ・オブジェなどを訪ねた記事が掲載されました。

<http://www.clairparis.org/img/pdf/new/2012/20120228takaoka.pdf>

↑ここにアクセスすれば、その記事を読むことが出来ます。下記には一部抜粋して掲載します。

インテリア業界のパリコレ「メゾン・エ・オブジェ」に出展 市長が“デザイン工芸都市高岡”をPR

はじめに

世界一のブロンズ鑄造を誇る高岡市(富山県)では、高岡の伝統産業である高岡銅器の振興を図るため、地元企業による新商品開発や国内外への販路拡大などの取組みを積極的に支援しています。今年度、高岡銅器協同組合及び市内企業3社が、パリで開催された世界最大級のインテリアとデザイン関連見本市「メゾン・エ・オブジェ」に出展しました。高岡市では、この活動を行政面から強力にバックアップするため、高橋高岡市長が来仏し、パリにおいてトップセールスを行いました。

メゾン・エ・オブジェ(MAISON & OBJET)とは、毎年1月と9月の年2回パリで開催される、家具、生活雑貨、テキスタイル等の生活空間アイテムを扱う世界最大級のインテリア&デザイン関連の見本市です。

市長のトップセールス

見本市会場にて、メゾン・エ・オブジェ主催団体SAFIのディレクターであるフレデリック・ブジャール氏(Frederic BOUGEARD)と面会しました。同氏からは、「高岡市長がサロンの会場に来てくださったことを光栄に思う。高岡からの出展4団体の展示は、オリジナリティに溢れていて素晴らしい。このような製品を出していただき感謝したい。クオリティの高いものをグループとして出展しているのは、主催者側からも誇りに思う」主催者として製品の独創性や質、中小企業の製品であることを重視しているが、日本からの展示品がこうしたニーズに最もマッチしている。今後も日本の産地を訪ね、新製品の開拓を行いたい」というお言葉がありました。

それに対し、高岡市長は、「高岡からの出展者を全て視察していただき感謝している。100年前にパリ万博で評価された高岡の工芸品が、今はまた形を変えてパリに渡ることになった。高岡市には、地元の伝統工芸を生かし、がんばってくれている人達がたくさんいて、今回はそのうちの4者が出展した。今後も、あとに続く企業、挑戦したいという企業を行政としても応援していきたい。伝統ある工芸品を是非日本に見に来てほしい」と力強く応えました。

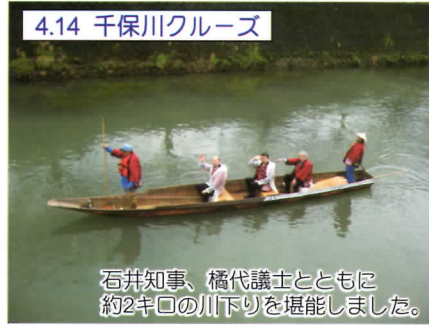
交通政策視察

平成26年度(2014年)に北陸新幹線「新高岡駅」の開業が予定されている高岡市。今回の来仏中に、昨年11月に当事務所から訪問調査を行ったランス市の交通政策についての視察も行いました。ランス市では、2007年に市の中央駅から数キロ離れている場所に新幹線の駅ができており、高岡市とよく似た条件にあります。また、人口規模も高岡市約18万人、ランス市約20万人、街中をトラムが走っている等の共通点も多くみられます。ランス市の中心部とのアクセス確保のため新たに整備されたトラム及びその運営方法、新幹線新駅開業のメリットを最大限生かすための観光プロモーション等、今後のまちづくりにヒントが得られたのではないかと期待しています。(以上抜粋)

4.6 新社会人のつどい



4.14 千保川クルーズ



石井知事、橋代議士とともに約2キロの川下りを堪能しました。

4.19 高岡市の母子保健推進員協議会



「新世紀高岡のまちづくり」題して講演をしました。

4.29 バースデーメモリアルツリー植樹祭



昨年度にこどもが生まれた親子約400人が参加、健やかな子供の成長を願いました。

5.1 ととまるグランプリ表彰式



5.8 消防司令事務共同運用合意書調印式



共同運用は県内初。高岡、氷見、砺波、南砺、小矢部の5市からの119番通報に對し、高機能消防指令センターには全ての緊急通報の位置を画面上に表示させるシステムなどがあります。

5.1 越前市との都市連携協定締結式



災害時以外にも、産業、観光、文化など多面的に協力し合い、ともに魅力ある都市づくりを目指します。

5.15 フシントン高峰桜100周年



フシントンボタマック河畔に高峰謙吉博士が日米友好親善の証として寄贈した桜が100年の時を経て高峰博士の生誕の地の高岡へ里帰りです。

5.1 高岡御車山祭に文化庁長官来高



「高岡御車山祭」のユネスコ無形文化遺産登録について、「なるべく早く戦略に乗る形で提案・登録できるよう、市や県と協議を進める」との見解をいただきました。

5.25 飛越能経済観光都市懇談会総会



2010年度に作成した「飛越能14都市観光ロードマップ」を刷新して約1万5千部を作成、秋ごろに配布するなどの事業計画を決定。

6.9 オープンカフェ



御旅屋通り商店街アーケードで開店し、住民がバンド演奏を楽しみながら、くつろぎのひとときを過ごしました。

5.27 高岡歴史ウォーク



参加者は、国宝や重要文化財など加賀藩ゆかりの市内の名所や史跡を巡り、「歴史都市」高岡の魅力に触れました。

6.9 原子力防災訓練



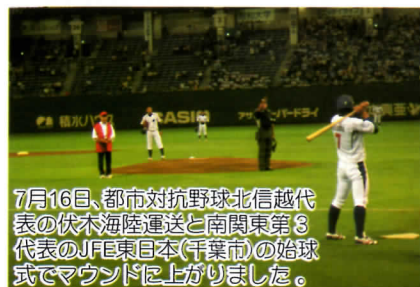
東京電力福島第1原発事故を受け、富山、石川県は9日、大地震で北陸電力志賀原発2号機から放射性物質が拡散した事故を想定した原子力防災訓練を初めて実施しました。

6.22 ポートセールス



東京の企業を訪問、伏木港の利便性を説いてきました。

6.2 水防訓練



7月16日、都市対抗野球北信越代表の伏木海陸運送と南関東第3代表のJFE東日本(千葉市)の始球式でマウンドに上がりました。



高樹会・高橋まさき後援会合同総会

6月24日(日)に開催しました。



高樹会役員名簿

役職	氏名	事業所
顧問	南 義弘	トナミホールディングス㈱ 取締役相談役
	石澤 義文	全国商工会連合会 会長
相談役	横田 安弘	(有)高岡工販 顧問
会長	川村 人志	三協・立山ホールディングス㈱ 代表取締役会長
副会長	須河 宗昭	北陸コカ・コーラボトリング㈱ 代表取締役専務
	八十島 清吉	㈱タカギセイコー 代表取締役 専務執行役員
	針山 健二	伏木海陸運送㈱ 代表取締役社長
	穴田 甚朗	富山県農業協同組合中央会 会長
	永田 義邦	㈱永田メディカル 会長
	金森 清伸	㈱カナモリ 代表取締役会長
	岡本清右衛門	㈱岡本清右衛門商店 代表取締役
	山本 務	㈱サンテン・コーポレーション 代表取締役会長
幹事長	本多 剛治	㈱ダスキン高岡 代表取締役会長
副幹事長	増岡 一郎	㈱マスオカ 代表取締役社長
	在田 吉保	㈱アリタ 代表取締役社長
	田辺 千秋	タナベ自動車㈱ 代表取締役
	釣谷 宏行	㈱CKサンエツ 代表取締役社長
	菅野 克志	高岡ガス㈱ 代表取締役社長
	萩原 清	高岡市農業協同組合 代表理事組合長
	萩原 隆夫	高岡商工会議所 専務理事
会計	鷺山 浩一	㈱トマック 代表取締役社長
監事	中村 絢一	(税理士法人)中村税務みらい経営 代表社員会長
	吉岡 隆一郎	㈱文苑堂書店 代表取締役会長
	張田 昭夫	ハリタ金属㈱ 代表取締役会長

高橋まさき後援会役員名簿

役職	氏名	法人名・団体名等
顧問	南 義弘	トナミホールディングス㈱ 取締役相談役
	石澤 義文	全国商工会連合会 会長
	橘 慶一郎	衆議院議員
相談役	横田 安弘	(有)高岡工販 顧問
会長	川村 人志	三協・立山ホールディングス㈱ 代表取締役会長
副会長	穴田 甚朗	富山県農業協同組合中央会 会長
	荒井 公夫	未広開発㈱ 代表取締役社長
	在田 長生	高岡信用金庫 理事長
	岡本清右衛門	㈱岡本清右衛門商店 代表取締役
	金森 清伸	㈱カナモリ 代表取締役会長
	藤木 正和	三協立山㈱ 代表取締役社長
	針山 健二	伏木海陸運送㈱ 代表取締役社長
	木本 博之	日本海自動車工業㈱ 代表取締役社長
	須河 宗昭	北陸コカ・コーラボトリング㈱ 代表取締役専務
	辻 やす子	地域女性ネット高岡 会長
	齊藤 栄吉	㈱富山銀行 取締役頭取
	酒井 敏行	高岡市商店街連盟 会長
	永田 義邦	協高岡問屋センター 理事長
	田井 佳夫	高岡青果市場協 理事長
	藤川 正司	高岡水産物市場協 理事長
	寺崎 敏治	協同組合高岡建設業協会 会長
	西田 隆文	㈱北陸銀行高岡地区事業本部 常務執行役員
	嶋 安夫	伝統工芸高岡銅器振興協 理事長
	氏家 史貴	伝統工芸高岡漆器協 理事長
	本多 剛治	㈱ダスキン高岡 代表取締役会長
	山本 務	㈱サンテン・コーポレーション 代表取締役会長
	田辺 千秋	タナベ自動車㈱ 代表取締役
	高嶋 一正	高岡市老人クラブ連合会 会長
	津田 晋也	高岡商工会議所青年部 会長
	嶋 光太郎	高岡伝統産業青年会 会長
幹事長	館 勇将	高岡市議会議員
会計	菅野 克志	高岡ガス㈱ 代表取締役社長
監事	杉江 幸男	㈱高岡ケージ工業 代表取締役社長
	中村 絢一	(税理士法人)中村税務みらい経営 代表社員会長

上記以外の役員として、参与に県議会議員5名、市議会議員19名、支部長に30名、幹事に151名の方々をお願いしております。

「高橋まさき後援会支部」設立状況

下関支部	東五位支部	川原支部	横田支部	万葉支部
二塚支部	野村支部	福田支部	木津支部	定塚支部
太田支部	戸出支部	立野支部	吉久支部	西条支部
中田支部	牧野支部	能町地区後援会	伏木支部	成美支部
石堤支部	佐野支部	小勢支部	国吉支部	平米支部
古府支部	福岡町支部	博労支部	正柔会	女性部会

「高樹会」入会について (お願い)

高橋まさきの政治活動を積極的に支援するとともに会員相互の親睦等を図る目的も含んだ「高樹会」に新しく入会してくださる方を募集しています。

詳細は、高橋まさき事務所

TEL 0766-26-6035

FAX 0766-26-6008

までお問い合わせください。